

## ukabis の活用によって子ども食堂へ 5,010 食分の食品を寄贈

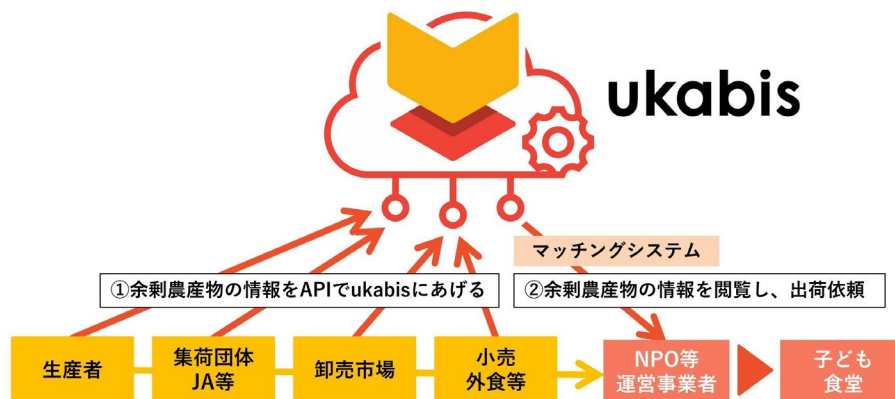
### ーデータ利活用を通じた、2つの社会課題解決への貢献ー

慶應義塾大学 SFC 研究所（神奈川県藤沢市、所長：飯盛義徳）は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において、2023年度からの本格運用に向け、スマートフードチェーンプラットフォーム（ukabis）を用いたデータ利活用によって、備蓄等食材・食品と子ども食堂のニーズとのマッチングを実施しました。本研究開発成果は、食品ロス削減及び子ども食堂支援という二つの社会課題解決に資する仕組みとして期待されます。

※ 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）は内閣府が科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクト。慶應義塾大学 SFC 研究所は、本プロジェクトの「スマートバイオ産業・農業基盤技術」において、食の生産・流通・消費を最適化するデータ連携プラットフォームの社会実装を目指して研究開発を行っています。

慶應義塾大学 SFC 研究所は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」を運営する株式会社クラダシ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：関藤竜也）と、ukabis によるデータ連携を活用し、企業が保有する備蓄用食品等と、食材・食品の提供を希望する大阪府内の子ども食堂とのマッチングを行う実証実験を実施しました。その結果、3企業から提供を受けた計 5,010 食分の冷凍食品および災害用備蓄食品と、大阪市および豊中市に位置する子ども食堂のべ 20 団体のマッチングを実現しました。

#### データ連携のイメージ



実証実験の詳細は別紙をご覧ください。

※本実証実験は、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「スマートバイオ産業・農業基盤技術」（管理法人：生物系特定産業技術研究支援センター）による成果の一部です。

※本プレスリリースは、株式会社クラダシと同時に新聞各社社会部等に配信しております。

#### 【本件についてのお問合せ先】

慶應義塾大学 環境情報学部 神成淳司（しんじょう あつし）研究室  
E-mail: [kaminari-core@sfc.keio.ac.jp](mailto:kaminari-core@sfc.keio.ac.jp)

#### 【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当  
E-mail: [kri-pr@sfc.keio.ac.jp](mailto:kri-pr@sfc.keio.ac.jp)